

第4回勉強会の内容

2月21日(金)夜
三宿地区会館2階
大会議室にて開催

まちづくり専門家

井上赫郎講師と考える街の特性と将来像

講師から見た「この街の特性」

- 1 地形の起伏があり、街の表情が豊かである。
- 2 街のみどりと憩いのシンボル空間としての「三宿の森緑地」「北沢川緑道」「烏山川緑道」。
- 3 街の人々の多くが「住みやすさ」「街並み・風景」「みどり」を評価している。
- 4 災害時の危険性があり「狭い道路」「街の耐火性」「建物同士の問題」が指摘されている。
- 5 良好なコミュニティが形成されていると思われるが、懸念すべき点もある。
- 6 人口密度はやや高いが、安定した人口構成である。
- 7 街の表情は多様であるが、ほとんどは第1種中高層住居専用地域である。
- 8 防災に関連して街への新しい動きがある。

主なご意見(気になった点)

- どのような状況で震災が起きるか分からないので、状況に応じた震災時の行動の仕方を住民同士で日頃から話し合った方がよい。
- 広域避難場所は高台にあるので、低地帯の住民が震災時にたどり着けるか心配だ。大規模マンションの一部が震災時に集会所になるような協定を結べたらありがたい。

- 建替えに伴う震災対策用井戸の減少が心配だ。現在使える震災対策用井戸も再点検したほうが良い。
- 安心・安全な街にしていけるために、日常時の住民の行動指針があった方がよいかもしれない。
- 補助第26号線と当地区の道路との取り付け方は防災に関わる問題でもあるので、どのような整備になるのか知りたいたい。



講師が考える「この街の街づくりの考え方」

- 1 街のいいところを大事にしながら「危険要因」の改善に努める。
- 2 防災に関連した街への新たな動きを街づくりに活用する。
- 3 コミュニティの育成こそが防災街づくりの重要な要素である。

この通信は対象地区にお住まいの方・土地建物所有者の方に世田谷区からお届けしています。

■お問い合わせ先

世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課 〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-22-33
電話：03-5432-2872(直通) FAX：03-5432-3055 (担当：二見・小出・内田・島津)

防災 街づくり通信

～世田谷区からのお知らせ～
池尻四丁目(24～39番)・三宿二丁目 ◆平成26年3月号◆
【発行】世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課

世田谷区では、木造住宅が密集している地区である「池尻四丁目(24～39番)・三宿二丁目」の区域において、災害に強い街づくりへの取り組みを進めています。今年度は、街の課題について気づきと共有をテーマに講師を招いて、勉強会を4回開催し一年間活動してきました。以下に、その内容をご紹介します。

平成25年9月

東京都建築安全条例による「新たな防火規制」の区域に指定されました



平成25年6月

世田谷消防署三宿出張所長 百川教彦氏に講演していただきました

- 講演内容
- 「自助」と「共助」について
 - 防災対応型防災訓練について
 - 災害時要援護者について
- ※災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者



平成25年9月

東京大学 加藤孝明先生に講演していただきました

- 講演内容
- 考えるべき災害
 - 「これからの防災も街づくり」
 - 防災の基本



アルファ米の作り方の実演・試食会も行いました



平成25年11月

まちづくり専門家 井上赫郎講師と 街歩きと点検マップづくりを行いました

- 講師からのアドバイス
- 都市計画道路整備をきっかけとした街づくり
 - 小規模敷地における建替え問題への検討
 - 良好な地域コミュニティの発展



平成26年度の予定

～災害に強い街づくりの推進に向けて～

当地区の将来像やその実現方策(例、街づくりルールなど)について、引き続き住民の皆さんと意見交換を行いながら進めていきます。ぜひご参加ください。

平成26年2月

まちづくり専門家 井上赫郎講師に街の将来像について講演していただきました

詳しい内容は、4ページをご覧ください。



街への“気づき”を共有しよう！一年間に寄せられた住民の皆さんからの声

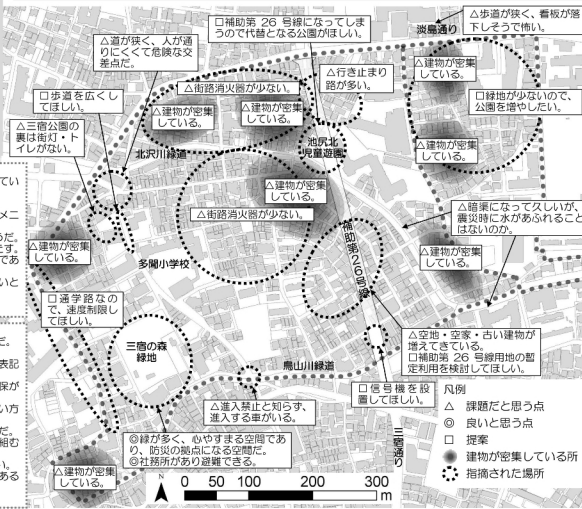
今年度は、アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。①11～12月に本通信によるハガキアンケート調査、②2月に多聞小学校5・6年生と保護者の皆さんへのアンケート調査、③2月に地域で活動する方々へのアンケート調査を実施しました。

11月に行いました街歩き点検マップの成果にアンケート調査で寄せられた皆さんの声を反映しました。その概要をご紹介します。

今後の街づくりを進めていく中で、皆さんからの貴重なご意見として活用していきます。

- 【建物】**
- △建替えや相続によって敷地が細分化されていることを防げるのが良い。
 - △空き家の倒壊や火災が心配だ。
 - △空き家が減少するよう、行政からの支援メニューがあるのが良い。
 - △建物が密集しており、燃え広がりやすそう。また、ガラス飛散による避難に支障をきたす。
 - △災害に強い街にするために、未利用地を少しでも建替えができるルールがほしい。
 - ◎新しい建物が多く、倒れにくい建物が多いと思う。
 - ◎高層の建物は街の目印となる点で良い。

- 【防災設備・活動】**
- △震災時のマンション内の連絡体制が心配だ。
 - ◎住民の防災意識を高めることが大切だ。
 - ◎震災対策用戸等々の場所をわかりやすく表記してほしい。
 - ◎震災対策用戸が少ないので、水源の確保が必要だ。
 - ◎スタンドパイプを定期的に使用して、使い方を把握しておくのが良い。
 - ◎広域避難場所の確保、PRを推進すべきだ。
 - ◎太子堂の町会と三箇の町会の合同で取り組むのが良いのではないかな。
 - ◎食料の備蓄倉庫がどこにあるか分からない。
 - ◎震災時の大規模マンションの地域貢献があるのが良い。
 - ◎身近なところに消火器が多くある。



- 【補助26号線以外の道路】**
- △狭い道路は消防車も入りにくく危険である。
 - ◎狭い道路や行き止まり路の解消をしてほしい。
 - ◎多聞小学校西側の北沼道路など、246号線から淡島通りへ通りの抜けができる道路は、交通量が多く危険なので改善してほしい。
 - ◎生活道路の歩道を広くしてほしい。
 - △遊歩路の道幅が広く、公園を増やしたい。
 - △坂道や階段のある坂道が多く、避難時に支障をきたす。
 - ◎被災時に歩行者に車が突っ込まないか不安だ。ガードレール等があると日常時に助けても安全だ。

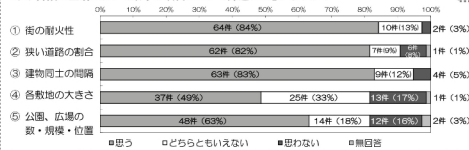
- 【公園・緑】**
- ◎子供の代のために公園も多い方がいい。
 - ◎道路整備に伴って公園が少なならないほしい。
 - ◎地域住民で毎日街を掃除し、きれいで安心、防犯の高い住みやすい街にしたい。

- 【電柱・壁】**
- △老朽化した腐壁やブロック塀があり、倒壊が心配だ。
 - △傾いた電柱や倒れた電柱があったが、震災時は大丈夫なのかな。
 - △自動販売機は地震で倒れないのか。

- 【補助26号線整備】**
- ◎整備の際には、植栽など緑を多くしてほしい。
 - ◎早期の整備を望む。
 - ◎補助26号線に街路樹、自転車専用レーンが設置できるとよい。

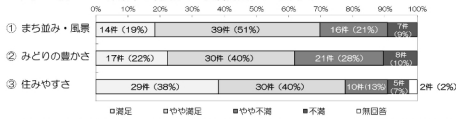
- 【その他】**
- ◎子育てしやすい街になってほしい。
 - ◎明るい街灯の設置など防犯も大切だ。
 - ◎地区内にも生鮮食品店等のスーパーがあると便利。
 - ◎公共Wi-Fiや公共電話は、地域の資源だ。
 - ◎起伏が多く、街を俯瞰で見ることができ、より愛着が持てる街だ。
 - ◎公園が各所に点在していて、避難所や家族での集合場所として良い。

Q1. 普段の生活において以下の項目について課題だと思いますか？



本通信でのハガキアンケート調査結果の抜粋【実施時期】平成25年11月20日～12月31日

Q2. この街について、以下の項目はどの程度満足していますか？



皆さんの声をあげてくださいませ！



池原三箇地区キヤクター みいけ